

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制											
デッサン基礎B											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	水野裕佳			実務 経験	有	職種	画家				
授業概要											
人物の基礎的な描画技法などを学び、描画力を高めます。											
到達目標											
デッサンの基本的要素(構図、明暗の階調、質感、量感、遠近感など)を理解する。また、自分の絵を客観的に見られるようにするとともに、ものを見る力(観察眼)を養うことで同様に自身の作品に反映させることができるようになる。色彩を用いてデッサンの基本的要素(構図、明暗の階調、質感、量感、遠近感など)を理解する。また、自分の絵を客観的に見られるようにするとともにものを見る力(観察眼)を養うことで同様に自身の作品に反映させることができるようになる。彩色画の基本的なテクニックを身につける。											
授業方法											
鉛筆でのデッサン実技が授業の主体になる。これまでデッサンの経験の有無は個人差があるため、描き易いモチーフから授業を進めていく。一つの課題が終わるごとに課題作品を講評する。他者の作品と比べることにより、自分の絵のくせや個性を発見できる。描く速度を向上させるために各授業毎に人物クロッキーを5分x2回実施する。彩色画は自分のイメージをより明確に表現できる手段のひとつである。12回目からは、これまでの学習をふまえて自由テーマでの作品制作を実施する。自分が描きたいもの、表現したいもの、得意な表現方法などを考える上											
成績評価方法											
課題作品の評価を主体とする。また、授業参加度や授業態度によって評価する											
履修上の注意											
授業開始時に実技のポイントなどを説明するので遅刻厳禁。クロッキー帳、水彩色鉛筆、練り消しゴムは毎回持参すること。課題作品はできるだけ授業時間内で仕上げるように留意すること											
教科書教材											
水彩色鉛筆、水彩用水筆。参考書・参考資料等は授業中に指示する											
回数	授業計画										
第1回	【ガイダンス、鉛筆での明暗の階調】ハッチングやぼかしなど様々な表現技法を理解する										
第2回	【幾何形体を描く】光源に対する面の向きと明暗の関係を理解する										
第3回	【折紙を描く】光源と面の向きによる明暗に注目し、描写する										

2023年度 日本工学院八王子専門学校

マンガ・アニメーション科四年制

デッサン基礎B

第4回	【石膏像を描く】構図や画面に対する大きさに注意して描写する
第5回	【石膏像を描く(2)】立体感と量感に注目して描く
第6回	【植物を描く】ハッチングやぼかしの技法を使って素材の質感を描く
第7回	【物を持つ手を描く】筋肉や骨の構造を意識して描く
第8回	【人物クロッキー】人体のプロポーション、動きについて理解する
第9回	【ヌードデッサン】基本的な人体デッサンのプロセスを理解する
第10回	【ヌードデッサン(2)】骨格や筋肉の構造を意識して作品を仕上げる
第11回	【人物クロッキー(2)】クラフト紙やボール紙などの有色の紙に描く
第12回	【お菓子の箱を描く】図像と立体の違いを理解する
第13回	【構成スケッチ(布、幾何形体、植物)】構図を考慮してモチーフを配置して描写する
第14回	【静物デッサン(幾何形体、ビン、木)】全体の構図、質感の違いを考慮して描写する
第15回	【静物デッサン(2)】光源と明暗の関係を理解する

2023年度 日本工学院八王子専門学校

マンガ・アニメーション科四年制

デッサン基礎B

第16回	静物デッサン1
第17回	静物デッサン2
第18回	静物デッサン3
第19回	風景・自然物スケッチ1
第20回	風景・自然物スケッチ2
第21回	風景・自然物スケッチ3
第22回	人物クロッキー1
第23回	人物クロッキー2
第24回	人物クロッキー3
第25回	ヌードデッサン1
第26回	ヌードデッサン2
第27回	石膏デッサン1

2023年度 日本工学院八王子専門学校

マンガ・アニメーション科四年制

デッサン基礎B

第28回

石膏デッサン2

第29回

石膏デッサン3

第30回

石膏デッサン4